

アンジュール  いつの日か…

unjour

2019 冬

いつもどこかで素敵な出会いを



納骨のカタチ

今までとこれからと

様々な生活様式や家族構成がある現代において、納骨のカタチにも変化が。

近年の納骨について、お話を伺ってきました。

読者プレゼント

同封のハガキにご意見・ご感想・質問などお気軽にお寄せください。

5,000円の  **和菓子、洋菓子**

抽選で**20名様**に **プレゼント**

応募締切 令和2年1月31日(金)

※当選者には、こちらからお届けに伺います。

セレモニー会館兼六



セレモニー会館 兼六西泉

〒921-8043
金沢市西泉4丁目85番地
☎076-241-4949



セレモニー会館 兼六駅西

〒920-0024
金沢市西念4丁目26番15号
☎076-234-7744



セレモニー会館 兼六城北

〒920-0842
金沢市元町1丁目8番20号
☎076-252-9999



セレモニー会館 兼六笠舞

〒920-0965
金沢市笠舞3丁目4番3号
☎076-224-8700



セレモニー会館 兼六扇が丘

〒921-8812
野々市市扇が丘33番19号
☎076-248-0005

兼六互助センターからのお願い

■ご住所・ご連絡先が変わられた会員様へ
住所等変更をお知らせください
お電話またはEメールにて受け付けております。

☎(076)242-0612
Eメール: muraigrp@po.incl.ne.jp

インタビューと撮影にご協力いただきました。

真宗大谷派東本願寺 金沢教区 金沢別院

〒920-0854 石川県金沢市安江町15-52

- 金沢別院開門 午前6時～
- // 閉門 午後9時
- 本堂参拝 午前7時～午後4時


金沢別院(東別院)

TEL.076-261-6432 FAX.076-265-6122

金沢教区金沢教務所

TEL.076-265-5191 FAX.076-265-5192




 **編集後記**

今回のアンジュールは、最近お客様からご相談を受けることが多いお墓・納骨堂について金沢別院の小林様にお話しをお聞き致しました。近年お墓を守っていく事が難しいケースも多くなってきています。少しでも参考にして頂ければと思います。

読者プレゼント

同封のハガキにご意見・ご感想・質問などお気軽にお寄せください。

5,000円の **和菓子、洋菓子**

抽選で**20名様にプレゼント** 

応募締切 令和2年1月31日(金)

※当選者には、こちらからお届けに伺います。

墓の跡継ぎ不足により 近年注目を集める納骨堂

村井 まず「納骨堂とは？」という基礎的なことについて教えてください。

小林 納骨堂とはその名の通り、故人のご遺骨を納めるお堂のことです。納骨堂の形式はさまざまで、多いのは「ロッカー式」と呼ばれるタイプです。扉が付いており、区分けされた棚に骨壺の入った桐箱を納めます。他にも、仏壇が並んだような形態の「仏壇式」や、コンピュータ制御で納骨箱が搬送される「自動搬送式」もあるそうです。

村井 金沢別院の納骨堂について教えてください。

小林 二つの納骨堂があり、一つは本堂内にあります。ご本尊を安置している台を須弥壇(しゅみだん)と呼び、この下に遺骨を納めるので「須弥壇収骨」と言います。もう一つ、金沢真宗会館内にも納骨堂があり、こちらを「納骨堂納骨」と呼んでいます。

村井 近年、納骨堂の利用者が増えていると聞きます。なぜでしょうか？

小林 大きな理由として挙げられるのが、やはりお墓の跡継ぎ不足でしょう。お墓は基本的に、一度建てると代々受け



沢口 隆司(さわぐちりゅうじ)
弊社村井スタッフ 1級葬祭ディレクター



小林 斉(こばやし ひとし)
真宗大谷派(東本願寺)金沢教務所長・金沢別院輪番・金沢幼稚園理事長

としていただく親鸞聖人の教えを受け継ぎ、真宗本廟(東本願寺)を護持していくことを願ひ、ご遺骨を分骨して本山に納骨する「本山納骨」が大切にされてきました。分骨には、教えのもとに生活していくという願いもあります。

村井 分骨は、どの骨を納めるのでしょうか？

小林 背骨の一部分である第2頸椎、いわゆる「喉仏」(のどぼとけ)です。喉仏は、「喉にいる仏様」という意味から呼ばれる名前です。きっと昔の人々は、「身体の中から仏さんが出てきた」と思ったのでしょう。

村井 納骨堂にご遺骨を納めた場合、法要はどのようなものがあるのでしょうか？

小林 納骨堂の年中行事として、3月には春彼岸法要、7月13日から16日まで盂蘭盆会法要、9月には秋彼岸法要、11月には本堂にて報恩講を勤めさせていただいております。

日程に関しては、納骨された方に個別にご案内させていただきます。行事以外でも自由に拝観し、参拝いただけますので、ぜひお気軽にお越しください。



金沢別院本堂内

継いでいくものです。ところが近年では少子高齢化や核家族化が進み、お墓を相続して守っていく人がいないというケースが多くなっています。

村井 いわゆる「墓じまい」も多いのでしょうか？

小林 はい、増えていきますね。仕事の関係で地元を離れる方も多く、お墓の維持管理がむずかしくなり、お墓からご遺骨を取り出して、納骨堂に移そうと考える方も増えているようです。金沢別院にも、多くの方が納骨堂の見学に来られるようになったのを実感しています。

ご先祖様を想う気持ちは お墓も納骨堂も同じ

村井 今後も納骨堂のご利用は増えていくのでしょうか？

小林 時代の流れもあり、お墓を必要としない方が増えていきます。ますます納骨堂を選ぶ方が増えることでしょう。

村井 遠方だと、たしかにお墓参りするのも大変ですね。

小林 昔はお盆になると、必ずおじいさ



意外と知らない全骨と分骨 分骨する理由とは？

村井 金沢別院には、納骨堂が本堂と金沢真宗会館の二か所あるとのことですが、どちらに納骨するかは選べるのでしょうか？

小林 全骨(ぜんこつ)の場合は、金沢真宗会館に納骨します。分骨(ぶんこつ)の場合は、本堂もしくは金沢真宗会館のどちらかを選んでいただくことができます。

村井 全骨と分骨とは、どういう意味でしょうか？まずは全骨について教えてください。

小林 全骨とは、ご遺骨すべてを骨壺に入れる「全収骨」(ぜんしゅうこつ)を指します。

村井 分骨は、ご遺骨を分けるということでしょうか？

小林 そうです。真宗大谷派では、宗祖



納骨堂「仏間」

んに連れられてお墓参りをしたという思い出を持つ方も多はずです。墓石の前に立つて、この人は誰それのお父さんで、どこそこの誰それと……と言った具合に、おじいさんは毎年、関係を説明するわけです。

村井 小さいお孫さんだと、きつとちんぶんかんぶんですね。

小林 会ったこともありませんから、分からないでしょうね。しかも暑いさなかにこっちのお墓、次はこっちのお墓と、連れ回されるのですから大変です。でも、最初は分からなくても、毎年聞いていけばだんだん分かってくるもの。自分が生まれてくる背景を知る上で、お墓参りは大切な機会だと思います。

村井 やはり、お墓にはお墓の良さがあるのですね。

小林 そうですね。ただしお墓を建てることも納骨堂に納骨することも、ご先祖様を想う気持ちに変わりはありません。お釈迦様が説かれた教えのことを「仏法」と言います。納骨も、仏法を聞く「仏法聴聞」の一つのご縁としていただければと思います。

村井 最後にメッセージをお願いします。

小林 納骨堂についてよく分からないという方もおられると思います。気になる点がありましたら、どうぞお気軽にお尋ねください。